

4年 図工 評価基準

学期	月	題材		評価規準	
1 学期	4月5月 途中	くぎうちトントン ビー玉レース（造 形遊び）	4	知識	活動を通して、ビー玉が釘の間を通るときの音や動きの面白さをわかっている。
				技能	正しい釘の打ち方を理解して、ビー玉が転がるコースを工夫して表している。
				発想・構想	釘や木切れを工夫して打って、ビー玉が転がるコースや仕組みをを思いついたり、作り変え方を考えたりしている。
				鑑賞	自分たちの作品の形や色のよさや面白さを感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。
				主体性	釘を打ってビー玉が転がるコースをつくる学習活動を楽しむ自ら進んで取り組もうとしている。
		絵の具で遊んで 自分色紙（造形 遊び→貼り絵）	4	知識	イメージに合った色紙の模様や色、形の組み合わせ、バランス、重なりがわかっている。
				技能	①絵の具や用具の使い方を工夫して様々な表現をしている。 ②はさみやのりを適切に扱い、切り方や貼り方を工夫して作品を作っている。
				発想・構想	絵の具の模様や色から表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。
	鑑賞			自分たちの作品の形や色のよさや面白さを感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	
			主体性	つくり出す喜びを味わい進んで絵の具遊びをしたり、貼ったりして切り絵に表す学習活動に取り組もうとしている。	
	5月 6月	木々を見つめて （写生画）	7	知識	木の絵を描くことを通して、奥行き、重なり、形や色の組み合わせがわかっている。
				技能	絵の具の正しい扱い方を身に付け、工夫して表している。（混色、水の量、重色、筆使い）
発想・構想				木を見たり、考えたり、感じたりしたことからのような木の絵を表すか思いつき、どのように表すか考えている。	
鑑賞				自分たちの作品の形や色のよさや面白さ、表し方の工夫を感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	
		主体性	つくり出す喜びを味わい進んで絵に表す学習活動に取り組もうとしている。		
6月 7月	原始の絵（想像 画）	7	知識	自作の土絵の具で表す活動を通して、形や色、その組み合わせの感じ、バランスがわかっている。	
			技能	土絵の具で自分がいいと思う色をつかったり筆や手で工夫して表したりしている。	
			発想・構想	原始時代の人類に思いを巡らせ、その頃生きた人の願いを思いつき、どのように絵に表すか考えている。	
			鑑賞	自分たちの作品の形や色のよさや面白さ、表し方の工夫を感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	
		主体性	土絵の具をつくることををたのしみ、自ら進んで原始時代の絵作りに取り組もうとしている。		
2 学期	9月 10月	本から飛び出した 物語	8	知識	お気に入りの場面をつくる活動を通して、形や色、材料やその組み合わせの感じをわかっている。
				技能	表したい感じに合わせて、形や色、材料や用具の扱い方を工夫して表している。
				発想・構想	物語の一場面から思い浮かべたことを基に表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑賞	自分たちの作品の形や色のよさや面白さ、表し方の工夫を感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。
			主体性	物語の一場面をつかったり、伝えたりしながら、つくることや伝えることに自ら進んで取り組もうとしている。	
	11月	彫ると出てくる不 思議な花（木版 画）	7	知識	彫ったり、刷ったりする活動を通して、自分のイメージに合った形や色、その感じをわかっている。
				技能	彫刻刀、パレン、インク、ローラーを適切に扱い、手や体全体を十分に働かせ、イメージに合わせて工夫して表している。
				発想・構想	「不思議な花」という言葉から想像したことや、彫りながら考えたことから、表したい花を見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑賞	自分たちの作品の形や色のよさや面白さ、表し方の工夫を感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。
			主体性	つくり出す喜びを味わい、彫ったり刷ったりすることを自ら進んで取り組もうとしている。	
	12月	光のカーテン （展覧会共同作 品）	3	知識	透ける光の美しさ、大きな作品のボリューム感を感じ取っている。
				技能	形を切り抜いたり、貼ったりすることを工夫している。
発想・構想				空の世界から想像したことや、つくりながら考えたことから、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
鑑賞				自分たちの作品の形や色のよさや面白さ、表し方の工夫を感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	
		主体性	大きな作品を友達と共につくる喜びを味わい、協力して進んで取り組もうとしている。		
12月	見つけてつくって わたしのすみか （造形遊び）	3	知識	段ボールで自分のすみかをつくる活動を通して、大きさ、丈夫さ、明るさ、広さを感じ取っている。	
			技能	段ボールカッターや、結束バンドを工夫して扱い、自分がいいと感じるすみかをつくっている。	
			発想・構想	場所の特徴からどのようなすみかをつくるか思いついたり、段ボール同士の組み合わせ方を工夫したりしている。	
			鑑賞	自分たちの作品の形や色のよさや面白さ、表し方の工夫を感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	
		主体性	場所や材料と自らすすんで関わり合いながら取り組もうとしている。		
3 学期	1月 2月	フワフワさんのす てきなりのもの （木工作）	10	知識	木工作の活動を通して、形や色、その組み合わせ、バランス、丈夫さなどの感じをわかっている。
				技能	①のこぎりでの切断、釘とボンドによる丈夫な接着など木工作に関する基本的な技能を身につけるとともに、自分の思いに合わせて用具や材料を工夫して扱い表している。 ②絵の具やペンを適切に扱い、色塗りや形を描くことを工夫して表している。
				発想・構想	フワフワさんが冒険する乗り物を思いつき、木材を切ったり組み立てたりしながら、どのようにするか考えている。
				鑑賞	自分たちの作品の形や色のよさや面白さ、表し方の工夫を感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。
			主体性	木工作でつくることを楽しみながら、技能や知識、思考力を身に付けようと自ら進んで取り組もうとしている。	
	2月	ハッピーカード	2	知識	渡したい相手に合った、色の組み合わせや飾り、バランスをつくりながらわかっている。
				技能	用具（のり、はさみ、）や材料（色画用紙）を適切に扱い、表したい感じに合わせて工夫して表している。
				発想・構想	渡したい相手に合った色の組み合わせや、形、メッセージを思いつき、どのようにするか考えている。
				鑑賞	自分たちの作品の形や色、動きのよさや面白さ、表し方の工夫を感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。
			主体性	ポップアップカードをつかったり、見たり、伝えたりしながら、つくることや伝えることに自ら進んで取り組もうとしている。	
	鑑賞アートカード ゲーム	2	知識	アートカードでの鑑賞ゲームを通して、形や色の感じ、面白さがわかっている。	
			技能	評価せず	
発想・構想			評価せず		
鑑賞			アートカードをよく見ながら、色や形、雰囲気などの造形的な特徴を捉え、友達に伝えている。		
		主体性	アートカードでの鑑賞ゲームに自ら進んで取り組んでいる。		
3月	光と影から生まれ た形（造形遊び・ 影絵遊び）	3	知識	光や影で遊ぶ活動を通して、光の色、影の形、動きやそれらの組み合わせがわかっている。	
			技能	身辺材料の組み合わせ方、光の当て方を工夫して、光や影をつくっている。	
			発想・構想	材料の組んだり、光の当て方を変えたりしながら面白い光や影の形を見つけている。	
			鑑賞	自分たちの活動の美しさや面白さ、表し方の工夫を感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	
		主体性	光や影の形をつくることを楽しみながら、自ら進んで取り組もうとしている。		

合計 60